

つるぎ

# 安全な出産技術 母国に ザンビア人助産師 病院視察

出産時に使う医療機器について説明を受けるムクンバさん(左から2番目) 〓つるぎ町立平田病院



ザンビアの診療所で助産師として働くアイビー・チヨタ・ムクンバさん(48)が27日、つるぎ町立平田病院を訪れ、日本の出産に関する技術や制度を学んだ。

読んで学ぼう  
**NIZE**

ザンビアの診療所で助産師として働くアイビー・チヨタ・ムクンバさん(48)が27日、つるぎ町立平田病院を訪れ、日本の出産に関する技術や制度を学んだ。

沖津修院長らが、日本の出生率の変遷や定期的な妊婦検診の内容などを説明。ムクンバさんは日本の医療保険制度の仕組みなどに

いて熱心に質問していた。出産時に使用する各種機器や薬品も見て回り、ザンビアの医療を向上させるヒントを探した。ムクンバさんは「近代的な設備や制度を学べて良かった。マフリ

アの流行など課題は多いが、ザンビアも安心して出産できる国になればいい」と話していた。

視察はザンビアの医療支援に取り組む吉野川市のNPO法人TICOの招きで実現。ムクンバさんは24日に来日し、10月11日まで県内の行政機関や学校などを視学する。(吉松美和子)